



VlanApp サービス

この章では、DCNM Web サービスの VlanApp サービスに対応する API メソッドについて説明します。

VlanApp サービスの概要

VLAN により、より小さな論理ブロードキャスト ドメインに LAN を分割することができます。VLAN 内のデバイスは、同一物理 LAN セグメントに接続されていても他の VLAN からブロードキャスト パケットを受信しません。

プライベート VLAN 機能により、VLAN を同一サブネットを共有するより小さなブロードキャスト ドメインにセグメント化することができます。たとえば、VLAN をプライマリ VLAN と 1 つまたは複数のセカンダリ VLAN に分割することができます。

addAllowedVlansOnTrunks

ポート モードに関係なく指定ポート上に VLAN 範囲を許可された VLAN として追加します。指定された VLAN が存在しない場合、不完全な通常 VLAN が作成され、ポートにバインドされます。

次のいずれかの状況が発生した場合に `ValidationException` がスローされます。

- `portNameIds` がヌルか、空の場合
- `portNameId` 内の要素が `SwitchedNetworkInterface` の有効な `InstanceNameId` ではない場合
- `vlanRange` がヌルか、空の場合
- `vlanRange` の ID が有効範囲外の場合

次のいずれかの状況が発生した場合に `IntegrityException` がスローされます。

- `portNameIds` 内の `InstanceNameIds` の対応オブジェクトが存在しない場合

パラメータ

`opContext` — 動作可能なコンテキスト

`portNameIds` — 許可された VLAN を追加するポートの `InstanceNameId` のリスト

`vlanRange` — 指定ポートの許可された VLAN として追加すべき VLAN ID の `IntegerRange` (例 : 1-10,20,35,50-120)

戻り値

`void`

bindAccessPortsToVlan

特定の VLAN へ指定ポートをバインドします。指定された VLAN が存在しない場合、不完全な通常 VLAN が作成されます。

ポートと VLAN との間で次のアソシエーションが更新されます。

- アクセスとしてのアソシエーションタイプの `SwitchedNetworkInterfaceBelongsToVlan`

次のいずれかの状況が発生した場合に `ValidationException` がスローされます。

- `portNameIds` がヌルか空であるか、リスト内のエレメントのタイプが `InstanceNameId` でない場合
- `portNameIds` 内の要素が `SwitchedNetworkInterface` オブジェクトの有効な `InstanceNameId` ではない場合
- `vlanIds` がヌルの場合

次のいずれかの状況が発生した場合に `IntegrityException` がスローされます。

- `portNameIds` 内の `InstanceNameIds` の対応オブジェクトが存在しない場合

パラメータ

`opContext` — 動作可能なコンテキスト

`portNameIds` — 指定された VLAN にバインドすべき `SwitchedNetworkInterfaces` の `InstanceNameId` のリスト

`vlanId` — 指定アクセス ポートをバインドする必要のある `VlanExternalto` の整数 VLAN ID

戻り値

`SwitchedNetworkInterfaceBelongsToVlan` オブジェクトのリスト

bindHostPortsToPrivateVlan

セカンダリ VLAN への PVLAN ホスト ポートをバインドします。指定された VLAN が存在しない場合、不完全な通常 VLAN `VlanExternal` が作成されます。

ポートと VLAN との間で次のアソシエーションが更新されます。

- プライマリ VLAN の `PVLAN_HOST_PRIMARY` および指定のセカンダリ VLAN の `PVLAN_HOST_SECONDARY` というアソシエーションタイプを有する `SwitchedNetworkInterfaceBelongsToVlan` が作成されます。

次のいずれかの状況が発生した場合に `ValidationException` がスローされます。

- `portNameIds` がヌルか空であるか、リスト内の要素がタイプ `InstanceNameId` でない場合
- `portNameIds` 内の要素が `SwitchedNetworkInterface` オブジェクトの有効な `InstanceNameId` ではない場合
- `portNameIds` 内の要素の対応オブジェクトが存在しない場合
- 指定ポートはホスト モードになります。
- `secondaryVlanNameId` または `primaryVlanId` がヌルの場合

次のいずれかの状況が発生した場合に `IntegrityException` がスローされます。

- `portNameIds` 内の `InstanceNameIds` の対応オブジェクトが存在しない場合

パラメータ

`opContext` — 動作可能なコンテキスト

`primaryVlanId` — 指定ポートにバインドされる `PrimaryVlan` の VLAN ID

`secondaryVlanId` — 指定ポートにバインドされる `SecondaryVlan` の VLAN ID

`secondaryHostPortNameIdCol` — ホスト モードの `SwitchedNetworkInterfaces` の `InstanceNameId` リスト

戻り値

`SwitchedNetworkInterfaceBelongsToVlan` オブジェクトのリスト

bindNativeVlanOnTrunks

指定ポートのネイティブ VLAN として指定 VLAN を設定します。指定された VLAN が存在しない場合、不完全な通常 VLAN が作成され、ポートにバインドされます。

次のいずれかの状況が発生した場合に `ValidationException` がスローされます。

- `portNameIds` がヌルか、空の場合
- `portNameId` 内の要素が `SwitchedNetworkInterface` の有効な `InstanceNameId` ではない場合
- `vlanRange` がヌルか、空の場合
- `vlanRange` の ID が有効範囲外の場合

次のいずれかの状況が発生した場合に `IntegrityException` がスローされます。

- `portNameIds` 内の `InstanceNameIds` の対応オブジェクトが存在しない場合

パラメータ

`opContext` — 動作可能なコンテキスト

`portNameIds` — `SwitchedNetworkInterface` ポートの `InstanceNameId` リスト

`vlanId` — 指定ポートのネイティブ VLAN として設定すべき VLAN の整数 ID

戻り値

`void`

bindPromiscuousPortsToPrivateVlan

プロミスキャス ポートを指定のプライマリ VLAN にバインドし、指定のセカンダリ VLAN も作成済みプロミスキャス アソシエーションにマッピングします。指定された VLAN が存在しない場合、不完全な通常 VLAN が作成されます。

ポート、プライマリ VLAN、およびセカンダリ VLAN との間で次のアソシエーションが更新されません。

- PromiscuousPvlanMapping

次のいずれかの状況が発生した場合に `ValidationException` がスローされます。

- `portNameIds` がヌルか空であるか、リスト内の要素がタイプ `InstanceNameId` でない場合
- `portNameIds` 内の要素が `SwitchedNetworkInterface` オブジェクトの有効な `InstanceNameId` ではない場合
- `primaryVlanId` がヌルか、`PrimaryVlan` の `InstanceNameId` でないか、対応オブジェクトが存在しない場合
- `secondaryVlanIds` がヌルか、空の場合
- `secondaryVlanIds` 内の `VlanIds` が `primaryVlanId` とオーバーラップする場合

次のいずれかの状況が発生した場合に `IntegrityException` がスローされます。

- `portNameIds` 内の `InstanceNameIds` の対応オブジェクトが存在しない場合

パラメータ

`opContext` — 動作可能なコンテキスト

`portNameIds` — `SwitchedNetworkInterfaces` の `InstanceNameId` リスト

`primaryVlanId` — 指定プロミスキャス ポートが追加されるプライマリ VLAN の整数 VLAN

`secondaryVlanIds` — プロミスキャス ポートにマッピングされるセカンダリ VLAN ID の `IntegerRange` (例: 1-10,20,35,50-120)

戻り値

`PromiscuousPvlanMappings` のリスト

bindSecondaryVlansToPrimary

指定のセカンダリ VLAN を指定のプライマリ VLAN へバインドします。

指定されたセカンダリ VLAN オブジェクトが存在しない場合、不完全なセカンダリ VLAN オブジェクトが作成され、バインドされます。

次のいずれかの状況が発生した場合に `ValidationException` がスローされます。

- `primaryVlanNameId` がヌルか、プライマリ VLAN の `InstanceNameId` ではない場合
- Catalyst 6500 シリーズ スイッチで、VTP モードがクライアント / サーバの場合

次のいずれかの状況が発生した場合に `IntegrityException` がスローされます。

- `primaryVlanNameId` の対応オブジェクトが存在しない場合

パラメータ

`opContext` — 動作可能なコンテキスト

`primaryVlanNameId` — プライマリ VLAN の `InstanceNameId`

`secondaryVlanRange` — 指定プライマリ VLAN とバインドすべきセカンダリ VLAN ID の `IntegerRange` (例: 1-10,20,35,50-120)

戻り値

`void`

bindSecondaryVlansToVlanNetworkInterface

セカンダリ VLAN のセットを `VlanNetworkInterface` (SVI) にバインドします。

次のいずれかの状況が発生した場合に `ValidationException` がスローされます。

- `vlanNetworkInterfaceNameId` がヌルか、`VlanNetworkInterface` の有効な `InstanceNameId` ではない場合
- `secondaryVlanId` がヌルか、リストが空の場合

次のいずれかの状況が発生した場合に `IntegrityException` がスローされます。

- `vlanNetworkInterfaceNameId` の対応 `VlanNetworkInterface` オブジェクトが存在しない場合

パラメータ

`opContext` — 動作可能なコンテキスト

`vlanNetworkInterfaceNameId` — セカンダリ VLAN をバインドする `VlanNetworkInterface` の `InstanceNameId`

`vlsecondaryVlanNameIds` — `VlanNetworkInterface` にバインドするセカンダリ VLAN の `InstanceNameId` リスト

戻り値

`void`

createSecondaryVlans

指定プライマリ InstanceNameId のセカンダリ VLAN リストを作成します。セカンダリ VLAN を作成するためにプライマリ VLAN が存在する必要があります。

次のいずれかの状況が発生した場合に ValidationException がスローされます。

- secVlanCol がヌルか、空の場合
- secVlanCol 内の要素が SecondaryVlan の有効なタイプではない場合
- secondaryVlanType がヌルの場合
- Catalyst 6500 シリーズ スイッチで、VTP モードがクライアント / サーバの場合
- VLAN 名がデバイスで一意的でない場合
- 指定された VLAN ID が内部 VLAN の VLAN ID とオーバーラップする場合
- Catalyst 6500 シリーズ スイッチで VLAN がデフォルト VLAN (例: VLAN 1、VLAN 1002 など) の場合
- 指定されたプライマリ VLAN にマッピングされた複数の隔離 VLAN がある場合

次のいずれかの状況が発生した場合に IntegrityException がスローされます。

- 指定デバイス内に同一 vlanId のある VLAN がすでに存在している場合
- primaryVlanNameId の対応オブジェクトが存在しない場合

パラメータ

opContext — 動作可能なコンテキスト

primaryVlanNameId — セカンダリ VLAN を関連付けさせるべき PrimaryVlan オブジェクト

secVlanCol — 作成し、プライマリ VLAN に関連付ける必要のある SecondaryVlan オブジェクトのリスト

戻り値

新規作成された SecondaryVlan の InstanceNameId リスト

createVlanInNetwork

ネットワーク要素のセット上に通常 VLAN を作成します。ネットワーク要素が指定されていない場合、VLAN が全管理ネットワーク要素に作成されます。

次のいずれかの状況が発生した場合に `ValidationException` がスローされます。

- `vlanIds` がヌルの場合
- `neNameIds` 内の要素が `AbstractNetworkElement` の有効な `InstanceNameId` ではない場合
- VLAN 名がデバイスで一意でない場合
- 指定された VLAN ID が内部 VLAN の VLAN ID とオーバーラップする場合
- Catalyst 6500 シリーズ スイッチで、VTP モードがクライアント / サーバの場合
- `vlanId` がデフォルト VLAN (例 : VLAN 1、VLAN 1002 など) とオーバーラップする場合 (Catalyst 6500 シリーズ スイッチの場合)

次のいずれかの状況が発生した場合に `IntegrityException` がスローされます。

- 指定デバイス内に同一 `vlanId` のある VLAN がすでに存在している場合
- `neNameIds` 内の `InstanceNameIds` の対応オブジェクトが存在しない場合

パラメータ

`opContext` — 動作可能なコンテキスト

`neNameIds` — VLAN を作成すべきネットワーク要素の `InstanceNameId` ヌルか空の場合、すべての管理ネットワーク要素上に VLAN が作成されます。

`vlanId` — 作成された VLAN の ID。整数

`vlanName` — VLAN の説明ヌルの場合、VLAN がデフォルト名で作成されます。たとえば、VLAN ID と共に追加される VLAN キーワードが設定されます。

戻り値

新規作成された VLAN の `InstanceNameId` リスト

createVlans

ネットワーク要素内の VLAN のリストを作成します。通常 VLAN とプライベート VLAN を作成するのにこのメソッドを使用できます。SVI やセカンダリ VLAN などのアソシエーションはこの API では考慮されません。

次のアソシエーションは、指定の VLAN に提供されます。

- ネットワーク要素リファレンス

次のいずれかの状況が発生した場合に `ValidationException` がスローされます。

- `vlanCol` がヌルか、空の場合
- `vlanCol` 内の要素が `VlanExternal` の有効なタイプでないか、`AbstractNetworkElement` リファレンスが指定されていない場合
- VLAN 名がデバイスで一意でない場合
- 指定された VLAN ID が内部 VLAN の VLAN ID とオーバーラップする場合
- Catalyst 6500 シリーズスイッチで、VTP モードがクライアント/サーバの場合
- VLAN がデフォルト VLAN (例: VLAN 1、VLAN 1002 など) である場合 (Catalyst 6500 シリーズスイッチの場合)

次のいずれかの状況が発生した場合に `IntegrityException` がスローされます。

- 指定デバイス内に同一 `vlanId` のある VLAN がすでに存在している場合
- 指定された `AbstractNetworkElement` の対応オブジェクトが存在しない場合

パラメータ

`opContext` — 動作可能なコンテキスト

`vlanCol` — 作成される `VlanExternal` オブジェクトのリスト

戻り値

新規作成された VLAN の `InstanceNameId` リスト

deleteAllowedVlansOnTrunks

トランク ポートの許可された VLAN リストからの VLAN 範囲を削除します。VLAN はどのタイプでも可能です。すべての VLAN がポートの許可 VLAN リストから削除される場合、許可される VLAN がデフォルト (1 ~ 4094) に設定されます。

次の検証が実行されます。

- 指定 VLAN が通常 VLAN のみにになります。
- 指定ポートがトランク ポートのみにになります。

次のいずれかの状況が発生した場合に `ValidationException` がスローされます。

- `portNameIds` がヌルか、空の場合
- `portNameId` 内の要素が `SwitchedNetworkInterface` の有効な `InstanceNameId` ではない場合
- `vlanRange` がヌルか、空の場合
- `vlanRange` の ID が有効範囲外の場合

次のいずれかの状況が発生した場合に `IntegrityException` がスローされます。

- `portNameIds` 内の `InstanceNameIds` の対応オブジェクトが存在しない場合

パラメータ

`opContext` — 動作可能なコンテキスト

`portNameIds` — 許可された VLAN が削除されるポートの `InstanceNameId` のリスト

`vlanRange` — 指定ポートの許可された VLAN から削除すべき VLAN ID の `IntegerRange` (例: 1-10,20,35,50-120)

戻り値

`void`

deleteVlans

VLAN の収集を削除します。VLAN がプライマリ VLAN の場合、すべての関連セカンダリ VLAN が削除されます。指定された VLAN にアソシエーションがある場合、VLAN が不完全ステートに設定され、アソシエーションは保持されます。

次のいずれかの状況が発生した場合に `ValidationException` がスローされます。

- `vlanNameIds` がヌルか、空の場合
- `vlanNameIds` 内の要素が VLAN の `InstanceId` ではない場合
- 指定された VLAN が内部またはデフォルト VLAN の場合
- Catalyst 6500 シリーズ スイッチで、VTP モードがクライアント / サーバの場合
- VLAN 名がデバイス内の VLAN とオーバーラップしない場合

次のいずれかの状況が発生した場合に `IntegrityException` がスローされます。

- `InstanceId` の対応 VLAN オブジェクトが存在しない場合

パラメータ

`opContext` — 動作可能なコンテキスト

`vlanNameIds` — 削除される VLAN の `InstanceId` のリスト

戻り値

`void`

deleteVlansInNetwork

ネットワーク要素内のリストから VLAN の収集を削除します。VLAN がプライマリ VLAN の場合、すべての関連セカンダリ VLAN がバインド解除されます。またこれにバインドされた不完全なセカンダリ VLAN がプライマリ VLAN にある場合、不完全 VLAN が削除されます。

次のいずれかの状況が発生した場合に `ValidationException` がスローされます。

- `vlanIds` がヌルか、空の場合
- 指定された VLAN が内部またはデフォルト VLAN の場合
- Catalyst 6500 シリーズ スイッチで、VTP モードがクライアント / サーバの場合

次のいずれかの状況が発生した場合に `IntegrityException` がスローされます。

- `neNameIds` 内の `InstanceNameId` の対応 `AbstractNetworkElement` オブジェクトが存在しない場合

パラメータ

`opContext` — 動作可能なコンテキスト

`vlanIds` — 削除される VLAN の `IntegerRange`

`neNameIds` — VLAN を削除すべきネットワーク要素の `InstanceNameId` のリストヌルの場合、全ネットワーク要素から VLAN が削除されます。

戻り値

`void`

disablePrivateVlanService

ネットワーク要素のプライベート VLAN サービスをディセーブルにします。サービス イネーブル化 / ディセーブル化が DCOS プラットフォームでサポートされます。この API が Catalyst 6500 シリーズ スイッチのネットワーク要素とともに呼び出される場合、`FeatureException` がスローされます。

次のいずれかの状況が発生した場合に `ValidationException` がスローされます。

- `neInstanceNameIdCol` がヌルの場合
- `neInstanceNameIdCol` に有効なネットワーク要素 `InstanceNameId` が含まれていない場合
- ネットワーク要素がデータベースに存在しない場合

パラメータ

`opContext` — 動作可能なコンテキスト

`neInstanceNameIdCol` — ネットワーク要素の `InstanceNameId` の収集

戻り値

`void`

enablePrivateVlanService

ネットワーク要素のプライベート VLAN サービスをイネーブルにします。サービス イネーブル化 / ディセーブル化が DCOS プラットフォームでサポートされます。この API が Catalyst 6500 シリーズ スイッチのネットワーク要素とともに呼び出される場合、FeatureException がスローされます。

次のいずれかの状況が発生した場合に ValidationException がスローされます。

- neInstanceIdCol がヌルの場合
- neInstanceIdCol に有効なネットワーク要素 InstanceNameId が含まれていない場合
- ネットワーク要素がデータベースに存在しない場合

パラメータ

opContext — 動作可能なコンテキスト

neInstanceIdCol — ネットワーク要素の InstanceNameId の収集

戻り値

void

getActivePortsCountInVlans

指定 VLAN InstanceNameId リストに存在するアクティブ ポートの番号リストを返します。

VLAN タイプに基づいてポートに対してカウントが実行されます。

- 通常 VLAN — アクティブ アクセス ポートの数
- プライマリ VLAN — アクティブ プロミスキャス ポートの数
- セカンダリ VLAN — アクティブ PVLAN ホスト ポートの数

次のいずれかの状況が発生した場合に ValidationException がスローされます。

- vlanNameIds がヌルか空であるか、リスト内の要素がタイプ InstanceNameId でない場合
- vlanNameIds 内の要素が VlanExternal オブジェクトの有効な InstanceNameId ではない場合

次のいずれかの状況が発生した場合に IntegrityException がスローされます。

- vlanNameIds 内の InstanceNameIds の対応オブジェクトが存在しない場合

パラメータ

opContext — 動作可能なコンテキスト

vlanNameIds — アクティブ ポート カウントが照会される VLAN オブジェクトの InstanceNameId リスト

戻り値

アクティブ ポート カウントのリスト

getInactivePortsCountInVlans

指定 VLAN InstanceNameId リストに存在する非アクティブ ポートの番号リストを返します。

VLAN タイプに基づいてポートに対してカウントが実行されます。

- 通常 VLAN — 非アクティブ アクセス ポートの数
- プライマリ VLAN — 非アクティブ プロミスキャス ポートの数
- セカンダリ VLAN — 非アクティブ PVLAN ホスト ポートの数

次のいずれかの状況が発生した場合に `ValidationException` がスローされます。

- `vlanNameIds` がヌルか空であるか、リスト内の要素がタイプ `InstanceNameId` でない場合
- `vlanNameIds` 内の要素が `VlanExternal` オブジェクトの有効な `InstanceNameId` ではない場合

次のいずれかの状況が発生した場合に `IntegrityException` がスローされます。

- `vlanNameIds` 内の `InstanceNameIds` の対応オブジェクトが存在しない場合

パラメータ

`opContext` — 動作可能なコンテキスト

`vlanNameIds` — 非アクティブ ポート カウントが照会される VLAN オブジェクトの `InstanceNameId` リスト

戻り値

非アクティブ ポート カウントのリスト

getInternalVlansInNetworkElement

ネットワーク要素に対応する内部 VLAN オブジェクトを返します。

`VlanInternal` オブジェクトでアソシエーションが使用できません。

次のいずれかの状況が発生した場合に `ValidationException` がスローされます。

- `neNameId` がヌルか、`AbstractNetworkElement` の `InstanceNameId` ではない場合

次のいずれかの状況が発生した場合に `IntegrityException` がスローされます。

- `neNameId` の対応オブジェクトが存在しない場合

パラメータ

`opContext` — 動作可能なコンテキスト

`neNameId` — 内部 VLAN が照会されるネットワーク要素の `InstanceNameId`

戻り値

`VlanInternal` オブジェクトの順次リスト

getPortsCountInVlans

指定 VLAN InstanceNameId リストに存在するポートの番号リストを返します。

VLAN タイプに基づいてポートに対してカウントが実行されます。

- 通常 VLAN — 指定ステータスのあるアクセス ポートの数
- プライマリ VLAN — 指定ステータスのあるプロミスキャス ポートの数
- セカンダリ VLAN — 指定ステータスのある PVLAN ポートの数

次のいずれかの状況が発生した場合に `ValidationException` がスローされます。

- `vlanNameIds` がヌルか空であるか、リスト内の要素がタイプ `InstanceNameId` でない場合
- `vlanNameIds` 内の要素が `VlanExternal` オブジェクトの有効な `InstanceNameId` ではない場合

次のいずれかの状況が発生した場合に `IntegrityException` がスローされます。

- `vlanNameIds` 内の `InstanceNameIds` の対応オブジェクトが存在しない場合

パラメータ

`opContext` — 動作可能なコンテキスト

`vlanNameIds` — `NetworkInterfaceOperationStatus` に基づくポート カウントが照会される VLAN オブジェクトの `InstanceNameId` リスト

`status` — `NetworkInterfaceOperationStatus`。ヌルの場合、動作ステータスに関係なく VLAN 内のポート数が返されます。

戻り値

ポート カウントのリスト

getPortsInVlan

VLAN に属するポートのリストを返します。提供されている VLAN タイプに基づいて SwitchedNetworkInterface (物理ポートおよびポート チャンネル) の収集を返します。

- a) 通常 VLAN — アクセス ポート
- b) プライマリ VLAN — プロミスキュス ポート
- c) セカンダリ VLAN — プライベート VLAN ホスト ポート

次のアソシエーションが各 NetworkInterface で使用可能です。

- NetworkInterfaceName
- NetworkInterfaceStatus
- PromiscuousPvlanMapping。セカンダリ VLAN 収集がプロミスキュス PVLAN マッピング用に読み込まれます。

次のいずれかの状況が発生した場合に ValidationException がスローされます。

- vlvlanNameId がヌルか、VlanExternal の有効な InstanceNameId ではない場合

次のいずれかの状況が発生した場合に IntegrityException がスローされます。

- vlanNameId の対応オブジェクトが存在しない場合

パラメータ

opContext — 動作可能なコンテキスト

vlanNameId — ポートが照会される VlanExternal の InstanceNameId

戻り値

指定 VLAN InstanceNameId に関連付けされている SwitchedNetworkInterface ポートのリスト

getPrivateVlanServiceState

対応する PVLAN サービスがイネーブルかどうかを指定するブール値のリストを返します。

次のいずれかの状況が発生した場合に ValidationException がスローされます。

- neInstanceNameIdCol がヌルの場合
- neInstanceNameIdCol に有効なネットワーク要素 InstanceNameId が含まれていない場合
- ネットワーク要素がデータベースに存在しない場合

パラメータ

opContext — 動作可能なコンテキスト

neInstanceNameIdCol — ネットワーク要素の InstanceNameId の収集

戻り値

void

getPrivateVlansInNetworkElement

ネットワーク要素に設定されているプライベート VLAN を返します。ネットワーク要素の InstanceNameId を指定する場合、プライマリ VLAN と対応するセカンダリ VLAN のリストを返します。

次のアソシエーションが各 VLAN で使用可能です。

- VLAN ステータス
- プライマリ VLAN の場合プライマリ VLAN 収集。このセカンダリ VLAN は VlanStatus を参照します。
- セカンダリ VLAN の場合プライマリ VLAN リファレンス。このプライマリ VLAN は VlanStatus を参照します。

次のいずれかの状況が発生した場合に ValidationException がスローされます。

- neNameId が AbstractNetworkElement の InstanceNameId ではない場合

次のいずれかの状況が発生した場合に IntegrityException がスローされます。

- neNameId の対応オブジェクトが存在しない場合

パラメータ

opContext — 動作可能なコンテキスト

neNameId — プライベート VLAN が照会されるネットワーク要素の InstanceNameId

戻り値

プライベート VLAN の PrimaryVlan および SecondaryVlan オブジェクトの順次リスト

getSecondaryVlans

1 つまたは複数のプライマリ VLAN のセカンダリ VLAN を返します。

次のアソシエーションが各 VLAN で使用可能です。

- VLAN ステータス

次のいずれかの状況が発生した場合に `ValidationException` がスローされます。

- `pvlanNameIds` がヌルまたは空か、タイプ `InstanceNameId` ではない場合
- `pvlanNameIds` 内の要素が `PrimaryVlan` オブジェクトの有効な `InstanceNameId` ではない場合

次のいずれかの状況が発生した場合に `IntegrityException` がスローされます。

- `pvlanNameIds` 内の `InstanceNameIds` の対応オブジェクトが存在しない場合

パラメータ

`opContext` — 動作可能なコンテキスト

`pvlanNameIds` — セカンダリ VLAN を照会する必要のある `PrimaryVlan InstanceNameIds` のリスト

戻り値

関連 `PrimaryVlan` リファレンスのある `SecondaryVlan` オブジェクトのリスト

getTrunksForVlan

VLAN を許可するトランク ポートを返します。

VLAN タイプに基づいて `SwitchedNetworkInterface` のリストを返します。

通常 VLAN — VLAN を許可するトランク ポート

次のアソシエーションが各 `NetworkInterface` で使用可能です。

- `NetworkInterfaceName`
- `NetworkInterfaceStatus`

次のいずれかの状況が発生した場合に `ValidationException` がスローされます。

- `vlvlanNameId` がヌルか、`VlanExternal` の有効な `InstanceNameId` ではない場合
- 指定された VLAN がプライベート VLAN (`PrimaryVlan` または `SecondaryVlan`) の場合

次のいずれかの状況が発生した場合に `IntegrityException` がスローされます。

- `vlanNameId` の対応オブジェクトが存在しない場合

パラメータ

`opContext` — 動作可能なコンテキスト

`vlanNameId` — ポートが照会される `VlanExternal` の `InstanceNameId`

戻り値

`SwitchedNetworkInterface` のリスト

getVlanGlobalSettings

指定ネットワーク要素の VLAN グローバル設定のリストを返します。

次のいずれかの状況が発生した場合に `ValidationException` がスローされます。

- `neNameIds` がヌルか空であるか、リスト内の要素がタイプ `InstanceNameId` でない場合
- `neNameIds` の要素が `AbstractNetworkElement` の `InstanceNameId` タイプではない場合

次のいずれかの状況が発生した場合に `IntegrityException` がスローされます。

- `neNameIds` 内の `InstanceNameIds` の対応オブジェクトが存在しない場合

パラメータ

`opContext` — 動作可能なコンテキスト

`neNameIds` — VLAN ID が照会されるネットワーク要素の `InstanceNameIds`。ヌルの場合、すべての管理ネットワーク要素から VLAN ID を返します。

戻り値

指定のネットワーク要素に対応する `VlanGlobalSetting` オブジェクトのリスト

getVlanIdsInNetwork

ネットワーク要素セットに設定されている VLAN の ID を返します。この API は通常およびプライマリ VLAN の ID を返します。アソシエーションがこの API に実装されず、VLAN ID 範囲のみがこの API で返されます。

次のいずれかの状況が発生した場合に `ValidationException` がスローされます。

- `neNameIds` の要素が `AbstractNetworkElement` の `InstanceNameId` タイプではない場合

パラメータ

`opContext` — 動作可能なコンテキスト

`neNameIds` — VLAN ID が照会されるネットワーク要素の `InstanceNameIds`。ヌルの場合、すべての管理ネットワーク要素から VLAN ID を返します。

戻り値

VLAN ID `IntegerRange` の範囲

getVlanNetworkInterfaces

VLAN のリストに対応する VlanNetworkInterface (SVI) オブジェクトのリストを返します。

次のアソシエーションが各インターフェイスで使用可能です。

- 名前
- インターフェイス ステータス
- セカンダリ VLAN 収集

次のいずれかの状況が発生した場合に `ValidationException` がスローされます。

- `vlanNameIds` がヌルか空であるか、リスト内の要素がタイプ `InstanceNameId` でない場合
- `vlanNameIds` 内の要素が `VlanExternal` オブジェクトの有効な `InstanceNameId` ではない場合

次のいずれかの状況が発生した場合に `IntegrityException` がスローされます。

- `vlanNameId` 内の `InstanceNameIds` の対応オブジェクトが存在しない場合

パラメータ

`opContext` — 動作可能なコンテキスト

`vlanNameIds` — `VlanExternal` オブジェクトの `InstanceNameId`

戻り値

指定の VLAN `InstanceNameId` の対応する `VlanNetworkInterface` オブジェクトのリスト

getVlans

指定の VLAN InstanceNameId リストの対応する VLAN オブジェクトを返します。VLAN 外部オブジェクトのみがこの API で許可されます。

次のアソシエーションが各 VLAN で使用可能です。

- VLAN ステータス
- プライマリ VLAN の場合プライマリ VLAN 収集。このセカンダリ VLAN は VlanStatus を参照します。
- セカンダリ VLAN の場合プライマリ VLAN リファレンス。このプライマリ VLAN は VlanStatus を参照します。

次のいずれかの状況が発生した場合に ValidationException がスローされます。

- vlanNameIds がヌルまたは空か、タイプ InstanceNameId ではない場合
- pvlanNameIds 内の要素が VlanExternal オブジェクトの有効な InstanceNameId ではない場合

次のいずれかの状況が発生した場合に IntegrityException がスローされます。

- vlanNameIds 内の InstanceNameIds の対応オブジェクトが存在しない場合

パラメータ

opContext — 動作可能なコンテキスト

vlanNameIds — VLAN の InstanceNameIds

戻り値

指定の InstanceNameId リストに対応する VlanExternal オブジェクトのリスト

getVlansInNetwork

ネットワーク要素のリストの VLAN ID リストに対応する VLAN オブジェクトを返します。渡された VLAN ID がヌルの場合、すべての VLAN 指定ネットワーク要素に対して返されます。ネットワーク要素 InstanceNameId リストに対してヌルが渡された場合、すべての管理ネットワーク要素にある VLAN が返されます。

次のアソシエーションが各 VLAN で使用可能です。

- VLAN ステータス
- PVRST 設定
- MST 設定
- プライマリ VLAN の場合プライマリ VLAN 収集。このセカンダリ VLAN は VlanStatus および STP 設定を参照します。
- セカンダリ VLAN の場合プライマリ VLAN リファレンス。このプライマリ VLAN は VlanStatus および STP 設定を参照します。

次のいずれかの状況が発生した場合に ValidationException がスローされます。

- neNameIds の要素が AbstractNetworkElement の InstanceNameId タイプではない場合

次のいずれかの状況が発生した場合に IntegrityException がスローされます。

- neNameIds 内の InstanceNameIds の対応オブジェクトが存在しない場合

パラメータ

opContext — 動作可能なコンテキスト

vlanIdRange — VLAN ID の範囲（例：1-10,20,35,50-120）。ヌルの場合、全 VLAN が返されます。

neNameIds — VLAN ID が照会されるネットワーク要素の InstanceNameIds。ヌルの場合、全管理ネットワーク要素の VLAN を返します。

戻り値

VlanExternal オブジェクトの順次リスト

getVlansInNetworkElement

ネットワーク要素に設定されている VLAN を返します。ネットワーク要素の InstanceNameId を指定する場合は、次のタイプの VLAN のリストを返します。

- 通常 VLAN
- プライベート VLAN (プライマリおよびセカンダリ)

この API は内部 VLAN を返しません。

次のアソシエーションが各 VLAN で使用可能です。

- VLAN ステータス
- プライマリ VLAN の場合プライマリ VLAN 収集。このセカンダリ VLAN は VlanStatus を参照します。
- セカンダリ VLAN の場合プライマリ VLAN リファレンス。このプライマリ VLAN は VlanStatus を参照します。

次のいずれかの状況が発生した場合に ValidationException がスローされます。

- neNameId が AbstractNetworkElement の InstanceNameId ではない場合

次のいずれかの状況が発生した場合に IntegrityException がスローされます。

- neNameId の対応オブジェクトが存在しない場合

パラメータ

opContext — 動作可能なコンテキスト

neNameId — VLAN が照会されるネットワーク要素の InstanceNameId

戻り値

VlanExternal オブジェクトの順次リスト

getVlansWithSecurityAssociations

VLAN に関連したセキュリティ アソシエーションを返します。

次のアソシエーションが各 VLAN で実装されます。

- DaiSetting
- DhcpSnoopingSetting

次のいずれかの状況が発生した場合に `ValidationException` がスローされます。

- `vlanNameIds` がヌルか空であるか、リスト内の要素がタイプ `InstanceNameId` でない場合
- `vlanNameIds` 内の要素が `VlanExternal` オブジェクトの有効な `InstanceNameId` ではない場合

次のいずれかの状況が発生した場合に `IntegrityException` がスローされます。

- `vlanNameIds` 内の `InstanceNameIds` の対応オブジェクトが存在しない場合

パラメータ

`opContext` — 動作可能なコンテキスト

`vlanNameIds` — VLAN の `InstanceNameIds`

戻り値

指定の `InstanceNameId` に対応するセキュリティ アソシエーションのある `VlanExternal` オブジェクトのリスト

getVlansWithSpanAssociations

VLAN に対応した SPAN アソシエーションを返します。

次のアソシエーションが各 VLAN で実装されます。

- 送信元 VLAN に対するローカル SPAN
- フィルタリングされた VLAN

LocalSpanSessionAppliesToVlan とフィルタリングされた VLAN の相手側で以下のオブジェクトが実装されます。

- LocalSpanSession

次のいずれかの状況が発生した場合に ValidationException がスローされます。

- vlanNameIds がヌルまたは空か、タイプ InstanceNameId ではない場合
- vlanNameIds 内の要素が VlanExternal オブジェクトの有効な InstanceNameId ではない場合

次のいずれかの状況が発生した場合に IntegrityException がスローされます。

- vlanNameIds 内の InstanceNameIds の対応オブジェクトが存在しない場合

パラメータ

opContext — 動作可能なコンテキスト

vlanNameIds — VLAN の InstanceNameIds

戻り値

指定の InstanceNameId に対応する SPAN アソシエーションのある VlanExternal オブジェクトのリスト

getVtpGlobalSettings

指定ネットワーク要素の VTP グローバル設定のリストを返します。VtpGlobalSetting オブジェクトは、Nexus 7000 シリーズ スイッチ プラットフォームでヌルです。

次のいずれかの状況が発生した場合に ValidationException がスローされます。

- neNameIds がヌルか空であるか、リスト内の要素がタイプ InstanceNameId でない場合
- neNameIds の要素が AbstractNetworkElement の InstanceNameId タイプではない場合

次のいずれかの状況が発生した場合に IntegrityException がスローされます。

- neNameIds 内の InstanceNameIds の対応オブジェクトが存在しない場合

パラメータ

opContext — 動作可能なコンテキスト

neNameIds — VLAN ID が照会されるネットワーク要素の InstanceNameIds。ヌルの場合、すべての管理ネットワーク要素から VLAN ID を返します。

戻り値

指定のネットワーク要素に対応する VtpGlobalSetting オブジェクトのリスト

modifyAllowedVlansOnTrunks

ポート モードに関係なく指定のポートの既存許可 VLAN を修正します。古いアソシエーションは指定 VLAN ID で置き換えられます。指定 VLAN が存在しない場合、不完全な通常 VLAN が作成され、ポートにバインドされます。

次のいずれかの状況が発生した場合に ValidationException がスローされます。

- portNameIds がヌルか、空の場合
- portNameId 内の要素が SwitchedNetworkInterface の有効な InstanceNameId ではない場合
- vlanRange がヌルか、空の場合
- vlanRange の ID が有効範囲外の場合

次のいずれかの状況が発生した場合に IntegrityException がスローされます。

- portNameIds 内の InstanceNameIds の対応オブジェクトが存在しない場合

パラメータ

opContext — 動作可能なコンテキスト

portNameIds — 許可された VLAN を修正するポートの InstanceNameIds のリスト

vlanRange — 指定ポートの許可された VLAN として修正すべき VLAN ID の IntegerRange (例: 1-10,20,35,50-120)

戻り値

void

modifySecondaryVlansForPromiscuousPorts

ポートの指定リストに対する既存のプロミスキャス PVLAN アソシエーションと関連付けられている既存セカンダリ VLAN を修正します。指定された VLAN が存在しない場合、不完全な通常 VLAN が作成されます。

ポートとセカンダリ VLAN との間で次のアソシエーションが置き換えられます。

- PromiscuousPvlanMapping。

次のいずれかの状況が発生した場合に ValidationException がスローされます。

- portNameIds がヌルか空であるか、リスト内のエレメントがタイプ InstanceNameId でない場合
- portNameIds 内の要素が SwitchedNetworkInterface オブジェクトの有効な InstanceNameId ではない場合
- primaryVlanId がヌルか、PrimaryVlan の InstanceNameId でないか、対応オブジェクトが存在しない場合
- secondaryVlanIdRange がヌルか、空の場合
- secondaryVlanIdsRange 内の VLANIds が primaryVlanId とオーバーラップする場合
- プロミスキャス バインディングが指定のポートに存在しない場合

次のいずれかの状況が発生した場合に IntegrityException がスローされます。

- portNameIds 内の InstanceNameIds の対応オブジェクトが存在しない場合

パラメータ

opContext — 動作可能なコンテキスト

portNameIdCol — SwitchedNetworkInterfaces の InstanceNameId リスト

secondaryVlanIdRange — プロミスキャス ポートにマッピングされるセカンダリ VLAN ID の IntegerRange (例: 1-10,20,35,50-120)

戻り値

PromiscuousPvlanMappings のリスト

modifyVlanGlobalSetting

指定のグローバル設定のある既存 VLAN グローバル設定オブジェクトを修正します。古いアソシエーションは新規グローバル設定に置き換えられます。

次のいずれかの状況が発生した場合に `ValidationException` がスローされます。

- `neNameIds` がヌルか空であるか、リスト内の要素がタイプ `InstanceId` でない場合
- `neNameIds` の要素が `AbstractNetworkElement` の `InstanceId` タイプではない場合
- 設定がヌルの場合

次のいずれかの状況が発生した場合に `IntegrityException` がスローされます。

- `neNameIds` 内の `InstanceNameIds` の対応オブジェクトが存在しない場合

パラメータ

`opContext` — 動作可能なコンテキスト

`neNameId` — `AbstractNetworkElement` の `InstanceId`

`setting` — 修正された `VlanGlobalSetting` オブジェクト

戻り値

`void`

modifyVlanTypeToNormal

VLAN のタイプのリストを通常に修正します。これは、サーバで作成された変更済みタイプの VLAN オブジェクトのリストを返します。

次のいずれかの状況が発生した場合に `ValidationException` がスローされます。

- `vlanCol` がヌルか空であるか、リスト内の要素がタイプ `VlanExternal` でない場合
- リスト内の要素がデバイス内にすでに存在する `VlanExternal` のものである場合
- Catalyst 6500 シリーズ スイッチで、VTP モードがクライアント / サーバの場合

次のいずれかの状況が発生した場合に `IntegrityException` がスローされます。

- `vlanCol` 内の対応オブジェクトが存在しない場合

パラメータ

`opContext` — 動作可能なコンテキスト

`vlanCol` — 通常 VLAN および セカンダリ VLAN を含む VLAN のリスト

戻り値

修正された (通常) VLAN のリスト

modifyVlanTypeToPrimary

VLAN のタイプのリストをプライマリに修正します。これは、サーバで作成された変更済みタイプの VLAN オブジェクトのリストを返します。

次のいずれかの状況が発生した場合に `ValidationException` がスローされます。

- `vlanCol` がヌルか空であるか、リスト内の要素がタイプ `VlanExternal` でない場合
- リスト内の要素がデバイス内にすでに存在する `PrimaryVlan` のものである場合
- Catalyst 6500 シリーズ スイッチで、VTP モードがクライアント / サーバの場合

次のいずれかの状況が発生した場合に `IntegrityException` がスローされます。

- `vlanCol` 内の対応オブジェクトが存在しない場合

パラメータ

`opContext` — 動作可能なコンテキスト

`vlanCol` — 通常 VLAN およびセカンダリ VLAN を含む VLAN のリスト

戻り値

修正された VLAN のリスト

modifyVlanTypeToSecondary

VLAN のタイプのリストをセカンダリに修正します。これは、サーバで作成された変更済みタイプの VLAN オブジェクトのリストを返します。

次のいずれかの状況が発生した場合に `ValidationException` がスローされます。

- `vlanCol` がヌルか空であるか、リスト内の要素がタイプ `VlanExternal` でない場合
- 同一 `secondaryVlanType` のある `SecondaryVlan` のリスト内の要素がすでにデバイス内に存在するいずれかの VLAN とオーバーラップする場合
- `secondaryVlanType` がヌルの場合
- 指定のセカンダリ VLAN オブジェクトに対応するプライマリ VLAN の隔離 VLAN 制限を超過した場合
- Catalyst 6500 シリーズ スイッチで、VTP モードがクライアント / サーバの場合

次のいずれかの状況が発生した場合に `IntegrityException` がスローされます。

- `vlanCol` 内の対応オブジェクトが存在しない場合

パラメータ

`opContext` — 動作可能なコンテキスト

`vlanCol` — 通常 VLAN およびプライマリ VLAN を含む VLAN のリスト

`secondaryVlanType` — セカンダリ VLAN タイプ (コミュニティ / 隔離)

戻り値

修正された VLAN のリスト

modifyVlans

既存 VLAN オブジェクトの収集を修正します。アソシエーションがアップデートされません。VLAN 特定パラメータのみがアップデートされます。

次のいずれかの状況が発生した場合に `ValidationException` がスローされます。

- `modifiedVlanCol` がヌルか、空の場合
- `modifiedVlanCol` 内の要素がタイプ `VlanExternal` ではない場合
- 指定された VLAN が内部またはデフォルト VLAN の場合
- プライベート VLAN がリモート SPAN をイネーブルにしている場合
- Catalyst 6500 シリーズスイッチで、VTP モードがクライアント/サーバの場合

次のいずれかの状況が発生した場合に `PropertiesException` がスローされます。

- `VlanExternal` オブジェクト `modifiedVlanCol` のアトリビュートが有効でないか、プラットフォームに基づいてサポートされていない場合

例

- `VlanExternal` の `ethernet mediaType` のみがサポートされます。
- `VlanExternal` の `vlanId` は範囲外です。

次のいずれかの状況が発生した場合に `IntegrityException` がスローされます。

- `modifiedVlanCol` `VlanExternal` 収集のオブジェクトの対応オブジェクトが存在しない場合

パラメータ

`opContext` — 動作可能なコンテキスト

`modifiedVlanCol` — 修正された `VlanExternal` オブジェクトのリスト

戻り値

`void`

unbindAccessPortsFromVlan

指定ポートのアクセス VLAN アソシエーションをアンバインドします。アンバインド後、ポートがデフォルト VLAN にバインドされます。

ポートと VLAN との間で次のアソシエーションが更新されます。

- アクセスとしてのアソシエーションタイプの `SwitchedNetworkInterfaceBelongsToVlan`

次のいずれかの状況が発生した場合に `ValidationException` がスローされます。

- `portNameIds` がヌルか空であるか、リスト内の要素がタイプ `InstanceNameId` でない場合
- `portNameIds` 内の要素が `SwitchedNetworkInterface` オブジェクトの有効な `InstanceNameId` ではない場合
- `vlanIds` がヌルの場合

次のいずれかの状況が発生した場合に `IntegrityException` がスローされます。

- `portNameIds` 内の `InstanceNameIds` の対応オブジェクトが存在しない場合

パラメータ

`opContext` — 動作可能なコンテキスト

`portNameIds` — アクセス VLAN からアンバインドすべき `SwitchedNetworkInterfaces` の `InstanceNameId` のリスト

戻り値

`void`

unbindHostPortsFromPrivateVlan

指定ポートの PVLAN ホスト アソシエーションをアンバインドします。

ポートと VLAN との間で次のアソシエーションが更新されます。

- アクセスとしてのアソシエーションタイプの `SwitchedNetworkInterfaceBelongsToVlan`

次のいずれかの状況が発生した場合に `ValidationException` がスローされます。

- `portNameIds` がヌルか空であるか、リスト内の要素がタイプ `InstanceNameId` でない場合
- `portNameIds` 内の要素が `SwitchedNetworkInterface` オブジェクトの有効な `InstanceNameId` ではない場合

次のいずれかの状況が発生した場合に `IntegrityException` がスローされます。

- `portNameIds` 内の `InstanceNameIds` の対応オブジェクトが存在しない場合

パラメータ

`opContext` — 動作可能なコンテキスト

`portNameIds` — PVLAN ホスト VLAN からアンバインドすべき `SwitchedNetworkInterfaces` の `InstanceNameId` のリスト

戻り値

`void`

unbindNativeVlanOnTrunks

指定ポートのトランク ネイティブ VLAN アソシエーションをアンバインドします。アンバインド後、ポートがデフォルト VLAN にバインドされます。

ポートと VLAN との間で次のアソシエーションが更新されます。

- アクセスとしてのアソシエーションタイプの `SwitchedNetworkInterfaceBelongsToVlan`

次のいずれかの状況が発生した場合に `ValidationException` がスローされます。

- `portNameIds` がヌルか空であるか、リスト内の要素がタイプ `InstanceId` でない場合
- `portNameIds` 内の要素が `SwitchedNetworkInterface` オブジェクトの有効な `InstanceId` ではない場合
- `vlanIds` がヌルの場合

次のいずれかの状況が発生した場合に `IntegrityException` がスローされます。

- `portNameIds` 内の `InstanceNameIds` の対応オブジェクトが存在しない場合

パラメータ

`opContext` — 動作可能なコンテキスト

`portNameIds` — トランク ネイティブ VLAN からアンバインドすべき `SwitchedNetworkInterfaces` の `InstanceId` のリスト

戻り値

`void`

unbindPromiscuousPortsFromPrivateVlan

プロミスキュス ポートを指定のプライマリ VLAN にバインドし、指定のセカンダリ VLAN も作成済みプロミスキュス アソシエーションにマッピングします。指定された VLAN がない場合、不完全通常 VLAN が作成されます。

ポート、プライマリ VLAN、およびセカンダリ VLAN との間で次のアソシエーションが更新されます。

- PromiscuousPvlanMapping。

次のいずれかの状況が発生した場合に `ValidationException` がスローされます。

- `portNameIds` がヌルか空であるか、リスト内の要素がタイプ `InstanceNameId` でない場合
- `portNameIds` 内の要素が `SwitchedNetworkInterface` オブジェクトの有効な `InstanceNameId` ではない場合

次のいずれかの状況が発生した場合に `IntegrityException` がスローされます。

- `portNameIds` 内の `InstanceNameIds` の対応オブジェクトが存在しない場合

パラメータ

`opContext` — 動作可能なコンテキスト

`portNameIds` — プロミスキュス マッピングからアンバインドすべき `SwitchedNetworkInterfaces` の `InstanceNameId` のリスト

戻り値

`void`

unbindSecondaryVlansFromPrimary

バインドしている場合プライマリ VLAN からセカンダリ VLAN をアンバインドします。

セカンダリ VLAN が不完全ステータスの場合、セカンダリ VLAN が削除されます。

次のいずれかの状況が発生した場合に `ValidationException` がスローされます。

- `secondaryVlanNameIds` がヌルか空であるか、リスト内の要素がタイプ `InstanceNameId` でない場合
- `secondaryVlanNameIds` 内の要素が `SecondaryVlan` オブジェクトの有効な `InstanceNameId` ではない場合
- Catalyst 6500 シリーズ スイッチで、VTP モードがクライアント/サーバの場合

次のいずれかの状況が発生した場合に `IntegrityException` がスローされます。

- `secondaryVlanNameIds` 内の `InstanceNameIds` の対応オブジェクトが存在しない場合

パラメータ

`opContext` — 動作可能なコンテキスト

`secondaryVlanNameIds` — プライマリ VLAN からアンバインドされるセカンダリ VLAN の (`@link InstanceNameId`) のリスト

戻り値

`void`

unbindSecondaryVlansFromVlanNetworkInterface

指定の `VlanNetworkInterface` (SVI) からセカンダリ VLAN をアンバインドします。

次のいずれかの状況が発生した場合に `ValidationException` がスローされます。

- `vlanNetworkInterfaceNameId` がヌルか、`VlanNetworkInterface` の有効な `InstanceNameId` ではない場合
- `secondaryVlanIds` がヌルか、空の場合

次のいずれかの状況が発生した場合に `IntegrityException` がスローされます。

- `vlanNetworkInterfaceNameId` の対応 `VlanNetworkInterface` オブジェクトが存在しない場合

パラメータ

`opContext` — 動作可能なコンテキスト

`vlanNetworkInterfaceNameId` — セカンダリ VLAN をバインドする `VlanNetworkInterface` の `InstanceNameId`

`secondaryVlanIds` — `VlanNetworkInterface` にバインドされるセカンダリ VLAN ID の `IntegerRange` (例: 1-10,20,35,50-120)

戻り値

`void`

